



## 臨床研究に関する情報の公開

作成日:2019/03/05

研究課題名	大腸 SSA/P with cytological dysplasia の内視鏡的特徴に関する観察研究
研究の対象	2013年4月から2018年3月までに5mm以上の大腸ポリープを当院で内視鏡的に切除され、病理学的診断が鋸歯状腺腫性ポリープ(Sessile Serrated Adenoma/Polyp(以下SSA/P))という良性ポリープの一種、またはSSA/P with cytological dysplasia(以下SSA/P-D)という前癌病変と診断された患者様が対象となります。
研究目的・方法	大腸SSA/Pは平坦な病変が多く、同定が難しい事、癌化ポテンシャルの低い過形成性ポリープとの内視鏡的な鑑別が難しい事から近年まで積極的な内視鏡切除の対象ではありませんでした。しかし、SSA/Pは3-10%程度の発癌率を有することが判明してきており、現在では積極的な病変摘除が望ましいとされています。なお、SSA/P-Dと言われる前癌病変の存在も提唱され、より積極的な切除対象と位置付けられています。 しかし、SSA/P-Dの内視鏡的な特徴については十分に検討されていないのが現状です。当院でのSSA/P-Dの内視鏡的特徴を解析することで、前癌病変の適切な拾い上げや同病変の摘除による大腸癌罹患率の低下が可能となる可能性が考えられます。 研究期間は医の倫理委員会の承認及び病院長の許可後から2020年3月31日までと致します。
研究に用いる試料・情報の種類	評価項目：大腸SSA/P with cytological dysplasiaの内視鏡的特徴 情報：カルテ番号、性別、年齢、併存疾患の有無、大腸病変の大きさ、肉眼型、局在等 試料：使用致しません
お問い合わせ先	本研究に関するご質問等がありましたら、下記の連絡先までお問い合わせ下さい。 ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。 また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。  照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先： 田附興風会医学研究所北野病院 消化器センター 消化器内科 〒530-8480 大阪府大阪市北区扇町 2-4-20 TEL 06-6312-1221 FAX 06-6361-0588  研究責任者： 田附興風会医学研究所北野病院 消化器センター 消化器内科 医員 渡邊 幸太郎